



当組合の概要及び 規格外品活用に向けた取り組み

営農販売部 営農課 毛利 尾澤

秦野市の概要



- ▶ 秦野市は**神奈川県**の西部に位置し、人口は約**16万人**の都市です。市の中心部から**東京・横浜へのアクセスは電車で約1時間**で、「丹沢大山国定公園」をはじめとする豊かな自然に恵まれた**県下で唯一の盆地**です。
- ▶ 秦野市はかつて「タバコ」の産地として知られ、秦野葉は水府（茨城県）、国分（鹿児島県）と並んで**日本三大葉タバコの一つ**として名を高めていました。
- ▶ 330年の伝統をもつ葉タバコづくりを中心に冬作は麦、菜種、夏作は落花生、陸稻など普通作との輪作体系が行われてきましたが、急速な都市化の進展により都市型農業へと方向が変わり、1984年（昭和59年）を最後に伝統的な葉タバコ栽培はすがたを消し、バラエティーに富んだ作目の導入と経営が行われるようになりました。



J A はだのの概要

1963年（昭和38年）秦野市農協設立。

1市1 J Aの形態のまま、J A創立61年を迎える。

▶ 正組合員 **2,606人**

▶ 准組合員 **11,491人**

▶ 職 員 **184人**

（職員・嘱託・臨時 合計294人）

▶ 販売取扱高 **18億1千万円**

（うち農産物直売所取扱高

11億2千万円）

直売所以外のおもな販売先

量販店・市場・全農ほか

▶ 購買供給高 **32億3千万円**



2025年2月末現在

販売TAC

2021年4月活動開始

TAC活動と同時に学校給食・大手量販店等への買取販売業務を担う

農産物直売所「はだのじばさんず」



実績 (2024年度)

出荷登録者数	614人
販売高	11億2,632万円
来店客数	531,069人
1日あたり	1,504人

規模

敷地面積	3,462㎡
売場面積	617㎡
営業時間	9時～17時 (本年3月より)
休業日	7・8月を除く 毎月第2火曜日・1/1～3



中学校給食への取り組み

- 令和3（2021）年12月からスタート予定の「中学校給食」
- 市内1か所のセンターによる調理
- 秦野市は「地場産利用率50%」を目指す計画を策定・JAへの協力依頼
- 地産地消を推進する観点からJAとして協力を決定



「中学校給食における地場産品の活用に関する協定」の締結

（秦野市と秦野市農業協同組合 令和3年8月17日締結）

連携及び協力事項

- ①新鮮で、安全・安心な地場産青果物等の中学校給食への安定的な供給と活用に関すること
- ②中学校給食を通じた食育と地産地消の推進に関すること
- ③中学校給食を支える生産者の確保・育成と生産振興に関すること
- ④上記のほか、中学校給食及び地域農業の振興に役立てる取り組みに関すること



中学校給食への取り組み

長期休暇を利用した規格外品の活用

実施年度	使用食材	使用量	献立
令和4年度	玉ねぎ、 かぼちゃ、 トマト、 ぶどう	—	※試作として実施。半年後に細菌検査を行い、適合となった。
令和5年度	玉ねぎ	76kg	和風ハンバーグ丼
令和6年度	かぼちゃ 玉ねぎ	160kg 60kg	かぼちゃのクリームスープ デミグラスハンバーグ
令和7年度	トマト	20kg	夏野菜のカレーライス (7/11提供)
	かぼちゃ	100kg	かぼちゃのシチュー (9月提供予定)
	玉ねぎ	100kg	デミグラスハンバーグ (9月提供予定)
	(いちご)	(2kg)	※試作のため使用予定なし



大磯プリンスホテルとの取り組み



- 2024年9月取引開始
 - 季節ごとの旬の地場産野菜を供給
- 規格外品活用を推進

ご清聴ありがとうございました